

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	Plus+days西淀川大野校		
○保護者評価実施期間	2025年 2月 1日		2025年 2月 14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	25人	(回答者数) 14人
○従業者評価実施期間	2025年 2月 1日		2025年 2月 14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7人	(回答者数) 7人
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 15日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童や保護者様からの相談や申し入れについて、迅速に対応している。	相談や申し入れの連絡があったらすぐに連絡を取り、必要であれば面談で内容をヒアリングして、解決や課題解消に取り組んでいる。	相談や申し入れの内容を事業所だけに留めず、関係機関等に共有して足並みを揃えた支援の実施。
2	定期的なモニタリングを行い、サービス計画の見直しを行っている	計画書の見直しは最低6か月に1度ではあるが目標の達成度合をみて、モニタリング期間を早めて児童の発達に合わせた目標を立てている。	児童の発達に合わせた支援内容を提供するために、日々自宅や学校での様子を情報収集する。
3	学校との情報共有(年間行事予定、下校時間の確認)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている。	変更等があればお電話、送迎時に情報共有や聴き取りを実施。	送迎業務の中で一番多いトラブルは下校時間の急な変更、学校職員との情報漏れなので、共有をしっかりと行いトラブル無くす。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員の配置数が不足している。	人員が充実していないため提供するサービスの低下や安心安全を確保するので精一杯。	・採用の強化 ・少ない人員でも声掛けや動き方を意識して安心安全な療育を提供する。
2	支援技術の向上のための研修の機会が確保出来ない	日々の運営や児童への対応や支援で研修時間を確保できていない。	1人でも研修に参加出来る時間を創出して参加してもらい、研修後は得た情報や知識を参加できなかったスタッフに共有してもらおう
3			